

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------------------|----------------|----------------|---|--|
| 家計 動向 関連 (四国) | | - | - | - |
| | | コンビニ（店長） | お客様の様子 | ・プラス一品の買上げがある。また、仕事中に立ち寄るサラリーマンが微増している。 |
| | | 乗用車販売店（営業担当） | 販売量の動き | ・新型車発売により来客数が増加し、受注台数は前年比50%増、登録台数も同23%増と前年を大きく上回っている。 |
| | | 観光型旅館（経営者） | 来客数の動き | ・8～9月は予想以上に客数が伸び、宴会等も少し増えた。アートイベント効果により、道後全体で宿泊人員が増加している。 |
| | | 通信会社（企画） | お客様の様子 | ・季節要因等はないのに、申込件数が増加している。良い方向に向かっている。 |
| | | 観光遊園地（職員） | 来客数の動き | ・施設の利用者数が増加している。 |
| | | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・毎年この時期は暇なのだが、こここのところ来客数が多い。 |
| | | 商店街（事務局長） | 販売量の動き | ・残暑が厳しく、婦人服の動きが例年以上に弱い。円高により一部のインポートブランド商品を値下げしたが、売上増にはつながらなかった。昨年はプレミアム付商品券による売上の底上げがあったため、今年はその反動が懸念される。 |
| | | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・雨の日が多く、来客数が減少している。観光客は入っているが、物販の売行きが非常に悪い。 |
| | | 商店街（代表者） | それ以外 | ・2020年以降は東京都の人口も減少していることが予想されるなか、地方都市は今後も厳しい状況が続く。 |
| | | 一般小売店〔酒〕（販売担当） | 販売量の動き | ・酒類小売店の売上は悪く、低迷したままである。 |
| | | スーパー（店長） | 単価の動き | ・単価の上昇傾向が続いていたが、ここにきて一服感がうかがえる。客の低価格品志向を強く感じる。また、水害等があったが、実際には昨年より青果物単価は下落しており、景気が悪化したように感じる。 |
| | | スーパー（財務担当） | 単価の動き | ・価格強化で買上点数はやや増加するも、単価が下落した。台風の影響も大きく、売上高は前年割れした。 |
| | | コンビニ（総務） | 来客数の動き | ・天候不順や台風の影響で、来客数は9月中旬以降、前年より減少している。 |
| | | 衣料品専門店（経営者） | 単価の動き | ・天候に恵まれ、大型連休もあって好調だった昨年に比べ、今年は台風や雨が多いことから相当厳しい。 |
| | | 衣料品専門店（総務担当） | 来客数の動き | ・台風や天候不順の影響で来客数が前年比10%以上減少しており、客数減が売上減に直結している。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | お客様の様子 | ・新車購入の商談が長引く傾向にある。 |
| | | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・新車受注台数は前年より増加しているが、単価が下がってきている。 |
| | | 一般レストラン（経営者） | 来客数の動き | ・台風の影響による営業日数の減少に加え、野菜や海産物の高騰もあり、厳しい。 |
| | | 都市型ホテル（経営者） | 来客数の動き | ・お遍路の「逆打ち」が関係しているのか、9月に入ると宿泊では、団体の動きが非常に良く、個人客も堅調に推移している。一方、レストランの利用者数は減少しており、若干停滞感がある。 |
| | 旅行代理店（営業部長） | 来客数の動き | ・サマー期間中だったが、来客数は前年より減少し、回復の兆しがみえない。 | |
| | タクシー運転手 | お客様の様子 | ・外国船の入港頻度が多くなっているが、その送迎にはバスが用意されているため、タクシー利用はほとんどない。街全体をみても、昼夜問わず客が少ない。雨が降っても、乗車率は良くならない。 | |
| | 通信会社（社員） | 販売量の動き | ・話題の新機種が発売されたものの、販売数の動きは例年に比べて鈍い。 | |
| | 通信会社（支店長） | 販売量の動き | ・特に変動が感じられるような販売量の変化は認められない。 | |
| | 設計事務所（所長） | お客様の様子 | ・良いところと悪いところとの差がはっきりとしてきている。 | |
| | 商店街（代表者） | 販売量の動き | ・天候不順の影響からか、前年同月と比べて売上高・客数共に減少しており、顧客の動向も鈍くなっている。 | |
| | 一般小売店〔生花〕（経営者） | お客様の様子 | ・高額購入する客は少数で、多くは単価の安いものが売れている。 | |

| | | | |
|----------------------------|-------------------------|--------------|--|
| | 一般小売店〔書籍〕（営業担当） | 販売量の動き | ・電子書籍の影響もあって、雑誌の定期購読者数が減っている。 |
| | 百貨店（営業担当） | 販売量の動き | ・買いたい商品以外は買わない客が多く、厳しい状況にある。 |
| | 百貨店（販売促進担当） | 販売量の動き | ・従前より衣料品の不振が続いていたが、猛暑や台風など天候不順の影響から、今月はさらに衣料品が悪化した。 |
| | スーパー（企画担当） | 来客数の動き | ・台風など天候の影響から来客数が伸び悩み、売上高につながらない状態が続いている。また、野菜の品不足や肉の高値続きなどの相場の状態から、買い控えが発生している。 |
| | コンビニ（商品担当） | 販売量の動き | ・9月は悪天候が続いたこともあって、販売前年比は8月よりも厳しい状況にある。 |
| | 衣料品専門店（経営者） | 販売量の動き | ・8月よりも、来客数、販売量、客単価すべてにおいて悪い。天候のせいもあるとは思うが、良くなる要素が見えない。 |
| | 家電量販店（店員） | 販売量の動き | ・来客数は横ばいだが、購入点数・金額とも減少している。 |
| | 乗用車販売店（役員） | 販売量の動き | ・9月の受注動向は、県内はもとより四国全域でも良くない。 |
| | その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人） | 販売量の動き | ・天候の関係からか、衣料品の動きが鈍くなっている。 |
| | ゴルフ場（従業員） | 来客数の動き | ・天候の影響もあり、今月は来客数が非常に少ない。 |
| | 競艇場（職員） | 販売量の動き | ・9月の売上高は、前月比7%減、3か月前比13%減、前年比2%増となった。周年記念レースとG1レースが場外発売されたが、売上増にはつながらなかった。 |
| | 住宅販売会社（従業員） | 販売量の動き | ・イベント等の来場者減少に伴い、受注棟数が減っている。 |
| × | 一般小売店〔乾物〕（店員） | お客様の様子 | ・天候不順もあるが、とにかく来客数が少ない。 |
| × | コンビニ（店長） | 販売量の動き | ・気温の低下と悪天候が続き、夏物商品の売行きが今一つで、飲料も伸びていない。 |
| 企業 動向 関連 (四国) | - | - | - |
| | 食料品製造業（商品統括） | 競争相手の様子 | ・資源を得意としている事業に集中させ、好調に業績を伸ばしつつある。 |
| | パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・インバウンド客の影響で、少しずつ良くなっている。 |
| | 輸送業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・海外の取引先が増加している。 |
| | 通信業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・テレビCMの出稿を増やす業種に幅が出てきた。 |
| | 繊維工業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・荷動きが活発な地域と、そうでない地域の格差はあるが、全体では前年と変わらない。しかし、悪い地域の落ち込みが今後さらに厳しくなると、全体的に悪化するのではないかと懸念している。 |
| | 木材木製品製造業 | 取引先の様子 | ・低金利と節税の効果で一部での需要喚起はあるものの、個人消費全般の喚起につながる大きな刺激が少ない。 |
| | 建設会社（経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・受注高、売上高とも増加したが、景気は変わらない。 |
| | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・まだまだ受注量が少ない。 |
| | 建設業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・国の公共事業発注が当初計画通りに進んでいることは、プラスとなっている。一方、自治体からの受注量が不足している会社も少なくない。総じて、変わらない。 |
| | 金融業（副支店長） | 取引先の様子 | ・取引先企業の資金需要動向に大きな変化は感じられない。設備投資も必要最小限の維持・補修に留まっている。 |
| | 公認会計士 | 取引先の様子 | ・今月の決算、試算表等をみると、前年比で売上が伸びていない企業が大半を占めている。利益に関してはむしろ赤字法人が増加している。 |
| | 鉄鋼業（総務部長） | 受注量や販売量の動き | ・産業用機械向けの受注が不調である。 |

| | | | |
|------------------|-----------------|--------------|---|
| | 一般機械器具製造業（経理担当） | 受注量や販売量の動き | ・国内稼働率がやや上昇したが、海外の需要は低迷している。 |
| | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・自然災害が景気に与える影響は大きい。 |
| | 輸送業（支店長） | 取引先の様子 | ・親会社の業績が芳しくない。本来、下請に流す仕事でさえ、無理して自社戦力でカバーしている。 |
| | 輸送業（営業） | 受注量や販売量の動き | ・行楽シーズンに入り消費拡大を期待していたが、例年に比べて台風の接近が多く、一般消費財を中心に取扱物量の大幅な減少が見られる。また、台風被害が農作物の出荷に影響を及ぼしている。 |
| | x | - | - |
| 雇用 関連 (四国) | 人材派遣会社（営業担当） | 求職者数の動き | ・派遣スタッフの登録が増加してきた。より良い仕事を求めてハローワーク以外の選択肢も増加してきているように思う。 |
| | 職業安定所 | それ以外 | ・8月の有効求人倍率は1.33倍で、3か月前の5月の1.28倍より0.05ポイント上昇した。 |
| | 民間職業紹介機関（所長） | 周辺企業の様子 | ・製造業全般に人手不足感がある。県では今後さまざまな事業を発信し、厚生労働省でも年内に事業を立ち上げると聞く。人手不足の打開策に期待している。 |
| | 人材派遣会社（営業） | 雇用形態の様子 | ・人手不足は継続中で、良い雇用条件を提示しても求職者の動きが変わらない。 |
| | 求人情報誌（営業） | 採用者数の動き | ・人材採用面から見ると、各企業の採用募集の数が増加しているため、景気が良くなったように見える。ただ、採用競争力の強い企業は人員が充足している一方、地元の中小企業の多くは正社員、アルバイト・パートとも不足している。全体では景気は変わらない。 |
| | 職業安定所（職員） | 周辺企業の様子 | ・人手不足でも雇用条件をアップできず、手をこまねいている様子が伺える。 |
| | 学校〔大学〕（就職担当） | 周辺企業の様子 | ・企業との就職情報交換会、企業説明会等では景気が良いという話も、悪いという話も聞かない。 |
| | 人材派遣会社（営業担当） | 求人数の動き | ・製造業も事務系も全体的に落ち着いており、求人数は減少してきている。ミスマッチなど転職などで休職する人も増加しており、景気が不安視される。 |
| | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | それ以外 | ・広告の出稿依頼が減少している。 |
| | x | - | - |